

競技注意事項

1 競技規則について

- (1) 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）又は校長とする。個人の場合は校長が認める当該校又は他の学校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）又は校長とする。
- (3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

2 競技者の招集について

- (1) 競技者招集所は、競技場正面玄関外側の100mスタート方向に設置する。

(2) 招集時間

| 競技種目 | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
|-------------|----------|----------|
| トラック競技 予選 | 競技開始60分前 | 競技開始20分前 |
| トラック競技 決勝 | 競技開始30分前 | 競技開始15分前 |
| リレー競技 予選・決勝 | 競技開始30分前 | 競技開始15分前 |
| フィールド競技 | 競技開始90分前 | 競技開始60分前 |

(3) 招集の手順

- ① 競技者または代理人が招集所の招集用紙に○印をつけ、各競技の場所で最終点呼を受ける。
- ② 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
- ③ リレー競技に出場する選手（4名全員）は、招集時刻内に招集所にて招集を受ける。ただし、その時間に他種目に出場の選手がいる場合は、その旨を招集時に競技者係に申し出ること。
- ④ 棄権をする競技者は、棄権届用紙（招集所に準備）に記入し、招集開始時刻までに招集所に提出すること。
- ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ⑥ リレーのオーダーについては、メンバー及びオーダーの変更の有無に関わらず、各ラウンド毎に招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙（招集所に準備）を招集所競技者係に提出すること。また、招集は規定通りに受けること。オーダー用紙の提出後は変更できない。怪我等の特別な理由がある時は本部へ申し出る。大会のドクターかトレーナーの診察を受け、変更を認めることがある。招集時間完了後は変更できない。
- ⑦ リレー種目で大会ドクターかトレーナーからの診断を受け変更を認められ不出場になった選手は、翌日に大会へ参加する場合、再度大会ドクターかトレーナーの診断を受け出場する事が出来る。
- ⑧ リレーのエントリー以外からリレー出場の場合は、オーダー用紙の氏名の右にエントリーした他種目名を記入すること。

3 ナンバーカードについて

- (1) 出場者はナンバーカードを胸部と背部につけて出場しなければならない。
- (2) トラック競技者は、招集所で競技者係から渡されたレーンナンバーカードを右腰やや後方につけること。
- (3) 跳躍種目の出場者は、胸部または背部のいずれかを除いてもよい。

4 競技について

- (1) 当該競技に参加する競技者以外は、競技場内に立ち入らないこと。
- (2) スパイクシューズのピンの長さは、トラック種目及び走幅跳は9mm以下、走幅跳以外のフィールド種目は12mm以下とし、全天候型走路専用ピンに限る。
- (3) 男子共通3000mSCに出場する選手は、スパイクシューズを履いて出場しなければならない。スパイクシューズを履いていない選手は、安全面の観点から出場させない。
- (4) トラック競技において、欠場者のレーンは、そのまま空けておく。
- (5) トラック競技において、セパレートレーンを使用する種目については、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (6) 男女800m予選は、1レーンに2名のセパレートレーンで行う。
- (7) 女子3000M決勝は、AB同時にレースをおこなう。
- (8) 長距離・競歩種目については、気象の状況により給水を設けることがある。
- (9) 4×400mリレーの第3・4走者は、競技役員の指示に従い前走者が200mスタート地点を通過した順位で、内側から並び待機する。その後に順位に変動があっても位置を変えてはならない。
なお、バトンを受け渡した後の走者は、後続の他チーム走者の走路を妨害しないように留意すること。
- (10) リレーに出場のチームは、各校同一のユニフォームを着用すること。
- (11) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。ただし、気象条件等により変更することもある。
男子A走高跳 1.75 1.80 1.85 1.88 (以降3cm刻み)
男子B走高跳 1.65 1.70 1.75 1.80 1.85 1.88 (以降3cm刻み)
女子A走高跳 1.40 1.45 1.50 1.53 (以降3cm刻み)
女子B走高跳 1.35 1.40 1.45 1.50 1.53 (以降3cm刻み)
男子棒高跳 2.50 2.70 2.90 3.10 3.30 3.50 3.70 3.80 (以降10cm刻み)
女子棒高跳 2.10 2.30 2.50 2.70 2.80 2.90 (以降10cm刻み)
- (12) フィールド競技のAについて、下記の記録以下は計測しない。ただし、気象条件等により変更することがある。
【男子】走幅跳…5.50m 三段跳…11.00m 【女子】走幅跳…4.50m
- (13) 投てき競技に出場する競技者は、役員の指示に従い事故防止に十分に注意すること。
- (14) 通信機器（携帯電話・トランシーバー等）、音楽端末機器等の競技場内への持ち込みは禁止する。
競技場内に持ち込む荷物の中にも入れないこと。
- (15) 男子A5000mはスタート後18分、男子共通3000mSCはスタート後12分、男女5000mWはスタート後35分でレースを打ち切る。

5 競技の抽選及び番組編成について

- (1) トラック種目における準決勝・決勝へのプラス進出者については、該当競技者の最下位に同記録が複数出た場合、写真判定により写真を拡大し「着差あり」まで判定する。それでも決まらない場合は「同着」とし抽選する。ただし、1500m以上の長距離種目での同記録者は、全員次のラウンドへ進むことができる。
- (2) 抽選は、本部の番組編成席で行う。抽選のアナウンス後5分経過しても該当競技者が番組編成席に来ない場合は本部が代理で行う。
- (3) 予選タイムレースの競技については、記録上位8名（チーム）が決勝に進出する。

6 競技用具について

- (1) この競技会で使用する用器具は、主催者で用意した競技場備え付けのものを使用しなければならない。
- (2) 槍は、個人持参のものを主催者で検査のうえ使用を認める。ただし、共通使用とする。
- (3) 槍の検査は、用器具倉庫（第4ゲート外側）付近にて時間（通告する）を決めて行う。

7 練習について

- (1) フィールド種目の練習は、招集後に本競技場内で行う。
- (2) 投てき練習場での練習は、ハンマー投のみ6月22日(土)の9時まで認める。投てき練習場へは、関係者以外は立ち入らないこと。ハンマー投は、本競技場で公式練習を2回行う。
- (3) 練習については事故防止のため、すべて競技役員の指示に従うこと。
- (4) 雨天練習場は、100mスタート方向からの一方通行とする。もどる際は、壁側の通路を通行すること。各校の控え所としての雨天練習場使用は禁止する。

8 表彰について

- (1) 各種目の表彰は行わない。第3位までの入賞者は決勝終了後、本部表彰者係まで賞状を取りに来ること。
- (2) 学校対校は総合の部・トラックの部・フィールドの部のそれぞれ第3位までを表彰する。
- (3) 入賞者の得点は、1位6点、2位5点、以下4・3・2・1点とする。

9 県大会について

- (1) 本大会A種目第5位・B種目第3位までの入賞者は、県大会(7/6~7 博多の森陸上競技場)の出場資格を得る。ただし、リレー競技・棒高跳・ハンマー投・男子3000MSC・女子400MH・女子三段跳は第8位まで、競歩競技は第4位までとする。
- (2) 県大会出場資格を得た学校は、所定の手続きを行う。「仮申込書」は本大会終了後速やかに(大会中でも可)大会本部へ提出する。なお、正式申込書等については県高体連か福岡陸上競技協会のホームページよりダウンロードし、6月25日(火)必着で専門委員長(純真高校 宮本)宛送付すること。
- (3) 県大会の参加負担金は、個人種目1種目につき600円、リレー種目1種目につき2,000円とする。
6月28日(金)までに下記の口座に振り込むこと。その際、「学校名・氏名」を必ず記載すること。

| | | | |
|------|-----------|----|-------|
| 店番 | 279 | | |
| 店名 | 福岡銀行太宰府支店 | | |
| 種別 | 普通預金 | | |
| 口座番号 | 1230453 | | |
| 名義人 | 福岡県高体連陸上 | 代表 | 永里 竜一 |

10 その他

- (1) 記録についてはアナウンスをするが、別にフィニッシュライン側玄関外側に掲示する。
- (2) スタンドにはテントを設置しないこと。
- (3) 各校の控え所については、譲り合って使用し、必要以上の広さを確保専有しないこと。
- (4) 各校の控え所の目印等で、紙のガムテープを床に貼らないこと。
- (5) 雨天練習場を各校の控え所としての使用は禁止する。
- (6) 各校の応援用横断幕・のぼりは、サイド・バックスタンドの中段以上とし、スタンドの一番下には張らないこと。のぼりはメインスタンド最上段に掲示してもよい。
- (7) 応援については、競技場内や競技場内通路での応援は禁止する。
- (8) 集団での連呼応援、フィールド競技を行っている際のその付近での応援は禁止する。
- (9) 更衣室は更衣のみに使用し、私物は一切置かないこと。競技終了後は速やかに更衣をすませ、更衣室を出ること。
- (10) ゴミについては、各学校で責任を持って持ち帰ること。
- (11) ビデオを見せる場合は、スタンドからのみ認める。吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため競技区域から離脱する行為は認めない。